

注3

大学番号：070

[平成20年度設置]

計画の区分：学部の学科等設置

注1

事前伺い

## 愛媛大学教育学部総合人間形成課程

注2

### 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 愛媛大学  
平成23年5月1日現在

#### 作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 ホウキ 法規チームリーダー・キリノ 桐野 リツコ 律子

電話番号 089-927-9016

（夜間） 089-927-9016

F A X 089-927-9025

e-mail houki@stu.ehime-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、

その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

1	調査対象大学等の概要等	
(1)	設置者 -----	1
(2)	大学名 -----	1
(3)	大学の位置 -----	1
(4)	調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等 -----	2
2	授業科目の概要	
(1)	授業科目表 -----	5
(2)	授業科目数 -----	1 4
(3)	未開講科目 -----	1 5
(4)	廃止科目 -----	1 5
(5)	授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び 「学生への周知方法」 -----	1 5
(6)	「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止 科目の計」の割合 -----	1 5
3	既設大学等の状況 -----	1 6
4	教員組織の状況 -----	1 8
5	その他全般的事項 -----	1 9

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 愛媛大学

## (2) 大学名

愛媛大学

## (3) 大学の位置

〒790-8577  
愛媛県松山市文京町3番  
(愛媛県松山市道後樋又10番13号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
教育学部 総合人間形成 課程 学士(教育学)	4年	60人	- 年次人	240人	

(注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60人 ( - ) [ - ]		1.05倍							
志願者数	208 ( 2 ) [ 2 ]	( - ) [ - ]	293 ( 7 ) [ 2 ]	( - ) [ - ]	220 ( 1 ) [ 2 ]	( - ) [ - ]	230 ( 4 ) [ 3 ]	( - ) [ - ]		
受験者数	158 ( - ) [ 1 ]	( - ) [ - ]	241 ( 7 ) [ 2 ]	( - ) [ - ]	176 ( 1 ) [ 2 ]	( - ) [ - ]	191 ( 4 ) [ 3 ]	( - ) [ - ]		
合格者数	70 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	68 ( 1 ) [ 1 ]	( - ) [ - ]	72 ( 1 ) [ 1 ]	( - ) [ - ]	72 ( - ) [ 1 ]	( - ) [ - ]		
B 入学者数	65 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	61 ( 1 ) [ 1 ]	( - ) [ - ]	63 ( 1 ) [ - ]	( - ) [ - ]	64 ( - ) [ 1 ]	( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.08		1.01		1.05		1.06			

- (注) ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[ - ] 65	[ - ]	[ 1 ] 61	[ - ]	[ - ] 63	[ - ]	[ 1 ] 64	[ - ]			
2年次	/		[ - ] 66	[ - ]	[ 1 ] 59	[ - ]	[ - ] 62	[ - ]			
3年次	/		/		[ - ] 65	[ - ]	[ 1 ] 57	[ - ]			
4年次	/		/		/		[ - ] 65	[ - ]			
計	[ - ] 65		[ 1 ] 127		[ 1 ] 187		[ 2 ] 248				

- (注) ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [ 0 ] 0	(累積)計 [ 0 ] 65	0%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 65人	
	(主な退学理由)		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ 0 ] 4	(累積)計 [ 1 ] 127	3.1%
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 66人	
	うち平成21年度入学者 3人	うち平成21年度 61人	
	(主な退学理由) ・その他(本学他課程への転学) 4人		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ 0 ] 1	(累積)計 [ 1 ] 187	0.5%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 65人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 59人	
	うち平成22年度入学者 1人	うち平成22年度 63人	
	(主な退学理由) ・その他(本学他課程への転学) 1人		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<教育学部 総合人間形成課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
初年次科目	新入生セミナー		1	2								
	コース初歩学習科目		1	2								
	こころと健康		1	2								教養科目区分からの移動(21)
	スポーツ		1	1								教養科目区分からの移動(21)
教養科目	地域と世界		1		2		1					
	生命を知る		1		2		1					
	人類と環境		1		2			1				
	こころの科学		1		2							教養科目区分の「こころの科学」、「生活と健康」、「みんなの医学」を業約して、初年時科目区分に移動のため削除(20)
	生活と健康		1		2							
	みんなの医学		1		2							
	自然との共生		1・2→1		2							授業内容の充実を図るために配当年次1・2を1に変更(22)
	自然との共生	環境E-S-D	1・2		4							授業内容の充実を図るため、自然との共生を2つに枝分けして追加(21) 発展科目区分に移動のため削除(22)
		環境E-S-D演習	2・3		2							授業内容の充実を図るため、自然との共生を2つに枝分けして追加(21) 発展科目区分に移動のため削除(22)
	農林水産業と自然→自然の恵みを考える		1・2→1		2							授業内容との整合性からよりふさわしい業科目名に変更(21) 授業の充実を図るために配当年次1・2を1に変更(22)
	科学リテラシー		1		2							新規科目として追加(21)
	持続可能な社会づくり(E-S-D)		1		2							教養科目「人類と環境」から授業内容の充実を図るため、枝分けして追加(21) 発展科目区分に移動のため削除(22)
	対話と人間		1・2		2							
	倫理と生き方		1・2		2		1					
	歴史の多様性		1・2		2			1				
	ことばの世界		1・2		2			1				
	文学の世界		1・2		2		1	1				
	芸術の世界		1・2		2							
	異文化へのまなざし		1・2		2							
	こころのバリアフリー		1		2							
	スポーツI→スポーツ		1		1							授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更し、初年次科目区分へ移動のため削除(21)
	スポーツII→スポーツと教育		1→2~4		1							授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(21) 授業の充実を図るために配当年次1を2~4に変更(22)
	スポーツIII→ライフスポーツ		2~4		1							授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(21) 発展科目区分に移動のため削除(22)
	くらしと法律		1・2		2							
	日本国憲法		1・2		2							
	くらしと経済		1・2		2		1					
くらしと政治		1・2		2								
現代社会と教育		1・2		2			1					
現代社会の諸問題		1・2		2			1					
“社会力”入門		2		1							授業の充実を図るために、新規科目名として追加(23)	
地域の活性化		2~3		2							授業の充実を図るために、新規科目名として追加(21) 発展科目区分に移動のため削除(22)	
現代と科学技術		1・2		2		1	1					
情報と現代社会		1・2		2			1					
物質の世界		1・2		2								
自然の法則		1・2		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	宇宙と地球	1・2		2								授業の充実を図るために、新規科目名として追加(20) 授業科目区分の科目に集約されたために科目名削除(21) 授業科目区分の科目に集約されたために科目名削除(21)
	数理と論理の世界	1・2		2								
	生命の不思議	1・2		2		+						
	知の最前線に学ぶ	1・2		1								
	都市環境と自然	1・2		2								
	自然災害	1・2		2								
	ドイツ語Ⅰ	1		2								
	ドイツ語Ⅱ	1		2								
	フランス語Ⅰ	1		2								
	フランス語Ⅱ	1		2								
	中国語Ⅰ	1		2								
	中国語Ⅱ	1		2								
	朝鮮語Ⅰ	1		2								
朝鮮語Ⅱ	1		2									
フィリピン語Ⅰ	1		2									
フィリピン語Ⅱ	1		2									
基礎科目	コミュニケーション英語A	1		2								発展科目区分に移動のため削除(22) " " "
	コミュニケーション英語B	1		1		+						
	総合英語A	1		2								
	総合英語B	1		1								
	英語S-1	2~4		2								
	英語S-2	2~4		2								
	英語S-3	2~4		2								
	英語S-4	2~4		2								
	情報科学	1		2		1						
	微積分Ⅰ**	1		2		1						
	線形代数Ⅰ**	1		2		+	1					
	スポーツⅠ	1		1		-	2					
	スポーツⅡ	1		1		+	2					
スポーツⅢ	2~4		1		+							
ドイツ語Ⅰ*	1		2									
ドイツ語Ⅱ*	1		2									
フランス語Ⅰ*	1		2									
フランス語Ⅱ*	1		2									
中国語Ⅰ*	1		2									
中国語Ⅱ*	1		2									
朝鮮語Ⅰ*	1		2									
朝鮮語Ⅱ*	1		2									
フィリピン語Ⅰ*	1		2									
フィリピン語Ⅱ*	1		2									
発展科目	接続可能な社会づくり(ESD)	1→1~4		2								授業内容の充実を図るために配当年次1を1~4に変更(22)
	環境ESD指導者養成講座Ⅰ	1・2→1~4		4								授業内容の充実を図るため、「環境ESD」を枝分けして追加と授業内容の充実を図るために配当年次1・2を1~4に変更(22)
	環境ESD指導者養成講座Ⅱ	1・2→1~4		4								授業内容の充実を図るため、「環境ESD」を枝分けして追加と授業内容の充実を図るために配当年次1・2を1~4に変更(22)
	環境ESD指導者養成演習Ⅰ	2・3→1~4		2								授業内容の充実を図るため、「環境ESD演習」を枝分けして追加と授業内容の充実を図るために配当年次2・3を1~4に変更(22)
	環境ESD指導者養成演習Ⅱ	2・3→1~4		2								授業内容の充実を図るため、「環境ESD演習」を枝分けして追加と授業内容の充実を図るために配当年次2・3を1~4に変更(22)
	愛媛大学リーダーズ・スクール	1~4		2								授業内容の充実を図るために、科目を追加(22)
	ライフマネジメントとセルフ・リーダーシップ	1~4		2								"
	リーダーシップとビジネススキル	1~4		2								"
	地域インターンシップ	1~4		2								"
	地域活性化ワークⅠ	2~3→1~4		2								授業内容の充実を図るため、「地域の活性化」を枝分けして追加と授業内容の充実を図るために配当年次2~3を1~4に変更(22)
	地域活性化ワークⅡ	2~3→1~4		2								授業内容の充実を図るため、「地域の活性化」を枝分けして追加と授業内容の充実を図るために配当年次2~3を1~4に変更(22)
	Oral Communication	1~4		2								授業内容の充実を図るために、科目を追加(22)
	Speaking & Reading Strategies	1~4		2								"
Effective Presentations	1~4		2								"	
Writing Workshop	1~4		2								"	
TOEIC Experience	1~4		2								"	
TOEIC Intensive	1~4		2								"	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	Business English	1~4		2								〃	
	Discussion Skills	1~4		2								〃	
	Writing Strategies	1~4		2								〃	
	Academic Reading	1~4		2								〃	
	Introductory Interpretation	1~4		2								〃	
	English for Tourism	1~4		2								〃	
	英語S 1	2~4		2								基礎科目区分からの移動 (22)	
	英語S 2	2~4		2								〃	
	英語S 3	2~4		2								〃	
	英語S 4	2~4		2								〃	
	スポーツⅢ→ライフスポーツ	2~4		1								教養科目区分からの移動 (22)	
	食育入門	1~4		1								授業内容の充実を図るために、科目を追加 (22)	
	食育総論	1~4		2								〃	
	天津等インターンシップ→中国インターンシップ	1~4		2								授業内容の充実を図るために、科目を追加 (22) 授業内容との整合性からふさわしい授業科目名に変更 (23)	
	小計 (82科目)	-	7	153	0	5	5						
	【国際理解教育コース】												
課程共通必修・選択必修科目	生涯学習論	2	2										
	異文化理解概論→異文化間教育概論	2	2			1							授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更 (20)
	日本語概説	1	2			1							アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加 (選択科目から) (20)
	情報化と言語	2	2			4							アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を廃止 (20)
	社会情報論→現代社会とメディア	2	2				1						授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更 (20)
	公共性と世代生成	3	2										
	生活科学概論	1	2										
	人のくらしと自然	1	2			2							
	情報科学基礎	1	2										
	情報処理入門	1	2				1						
	日本語教育概論	2	2										アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加 (選択科目から) (20)
	国際理解教育論	2	2				1						
	国際理解教育実践論	2	2										国際理解教育の授業内容の充実を図るため追加 (22)
	異文化間コミュニケーション演習→ICTと異文化間コミュニケーションⅡ	3	2										授業内容との整合性からふさわしい授業科目名に変更 (23)
	アジア文化概論→中国古典概説	2	2				1						アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目名を変更 (20)
	日本文化概論→日本文化情報	2→3	2				1						アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目名変更と授業の充実を図るために配当年次を3に変更 (20)
	国際理解教育の現状	3	2										アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を廃止 (20)
	文化心理学概論	3	2										
	イギリス文化概論	2	2				1						
	アメリカ文化概論	3	2										
中国文化情報	3	2				1							
英米事情→日英文化比較	2	2				1						授業内容との整合性からふさわしい授業科目名に変更 (23)	
国際理解実践Ⅰ (アジア圏) →海外体験学習 (アジア圏)	1~4	2										アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目名を変更 (20)	
国際理解実践Ⅱ (英語圏) →海外体験学習 (英語圏)	1~4	2				1						〃	
国際理解実践Ⅲ→漢字文化体験学習	1~4	2										〃	
日英語比較対照言語学Ⅰ	2	2										アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目名を変更 (20)	
日英語比較対照言語学Ⅱ	3	2											
アメリカ文学と言語	2	2											
異文化とイギリス文学	2→3	2										授業内容の充実を図るために配当年次を変更 (20)	
異文化と日本近代文学	1→2	2				1						授業内容の充実を図るために配当年次を2に変更 (20)	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目B	教育課程論	3		1								" " " " " " " " 免許法改正に伴う授業科目の変更と授業内容の充実を図るため配当年次3を4に変更(22)
	特別活動論	3		1								
	教育方法論	3		1								
	総合演習→教育実践演習(中・高)	3→4		2								
小計(6.5科目)		-	18	109	0	5	2					
【人間社会デザインコース】												
課程共通必修・選択必修科目	生涯学習論	2	2									授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)  アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加(20) アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を廃止(20) 授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)
	異文化理解概論→異文化間教育概論	2		2		1						
	日本語概説	1		2		1						
	情報化と言語	2		2		4						
	社会情報論→現代社会とメディア	2	2				3					
	公共性と世代生成	3	2			1						
	生活科学概論	1		2				1				
	人のくらしと自然	1		2		2		1				
	情報科学基礎	1		2				1				
	情報処理入門	1		2			1					
必修科目	文献講読基礎	1	2				1					
	ディベート	2	2			1						
	資料論	2	2			1						
選択必修科目A	地域デザインフォーラム	1~3		10			1					
	福祉デザインフォーラム	1~3		10			1					
	平和デザインフォーラム	1~3		10			1					
必修科目B	日本史における地域社会	2		2		1						
	ヨーロッパ女性史	3		2			1					
	アジア史における戦争と平和	2		2			1					
	環境地理学	3		2			1					
	地域学入門	1		2		1						
	福祉社会学	2		2			1					
	希望の経済学	2		2		1						
	戦争体験論→戦争の政治学	2		2					1		授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)	
	市民教育論→市民と政治	2		2			1				授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)	
	コース選択科目	キャリアデザイン論Ⅰ	2		2							
キャリアデザイン論Ⅱ		2		2		2	1					
日本史における戦争と平和		3		2		1						
ヨーロッパ形成史		3		2			1					
中東歴史事情		4		2								
地域地理学(日本)		3		2			1					
地域地理学(世界)		3		2		1						
国際福祉・開発論		4		2								
経済思想		4		2								
共生の倫理学		3		2		1						
日本史Ⅰ		2		2		1						
日本史Ⅲ		3		2		1						
日本史特講		3		2							アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を廃止(20)	
外国史Ⅰ		2		2			1					
外国史Ⅲ		4		2			1					
外国史Ⅳ		1		2			1					
外国史Ⅴ		3		2			1					
地理学概説(地誌を含む)		1		2		1						
人文地理Ⅰ		2		2		1						
人文地理Ⅱ		4		2		1						
自然地理Ⅰ		1		2			1					
自然地理Ⅱ		3		2			1					
地理学野外実験		1~4		8		1	1					
法学Ⅰ(国際法を含む)	2		2							授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)		
政治学Ⅰ(国際政治を含む)	1		2							授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)		
社会学Ⅰ	2		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	社会学Ⅱ	3		2			1				授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名と授業の充実を図るために配当年次を2に変更(21) 授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(22)	
	社会学野外実験	1~4		8			1					
	経済学Ⅰ→経済学(特)(国際経済を含む)→経済学Ⅰ(国際経済を含む)	1→2		2		1						
	経済学Ⅱ	3		2		1						
	哲学Ⅰ	2		2		1						
	哲学Ⅱ	3		2								
	倫理学Ⅰ	1		2		1						
	小計(56科目)		-	12	136	0	3	3	1			
	【生活環境コース】											
	課程共通必修・選択 必修・選択必修科目	生涯学習論	2	2								授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)
		異文化理解概論→異文化間教育概論	2		2		1					
		日本語概説	1		2		1					アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加(20)
		情報化と言語	2		2		4					アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を廃止(20)
		社会情報論→現代社会とメディア	2		2			3				授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)
		公共性と世代生成	3		2							
生活科学概論		1	2					1				
人のくらしと自然		1	2			2		1				
情報科学基礎		1		2				1				
情報処理入門		1		2								
人間生活原論		1	2				1					
地球環境と生態系		2	2									
水循環と生活環境		1		2		2	2					
環境教育学概論		2		2			1					
環境物質科学		2		2			1					
生活環境基礎実験・実習	1	2			3	4	1					
生活環境科学演習	3	2										
選択科目A	保育学	2		2			1				新任教員によるコースカリキュラム充実のために追加(21)	
	人間と科学・環境	2		2			1					
	生活主体の形成と環境	3		2			1					
	家族関係学	3		2				1				
	環境と社会問題	3		2								
	生活環境と安全	3		2								
	子ども・家族福祉	3		2			1					
	環境教育実践演習	2		2			1					
	衣生活論	2		2								
	住居学	2		2		1						
	食生活の安全と健康	3		2			1					
	子ども・環境・まちづくり	3		2		1						
	ゴミと資源・エネルギー	3		2								
	消費者教育論	3		2								
	食教育論	3		2								
先端科学と生活	3		2				1					
バリアフリーの環境	3		2									
生活科学実験→生活科学実験Ⅰ	2		1					1		当初「生活科学実験」(2年次2単位)にしていたが、授業時間割、担当教員の制約等から「生活科学実験Ⅰ」(2年次1単位)及び「生活科学実験Ⅱ」(2年次1単位)の2つの科目に分類(20)		
→生活科学実験Ⅱ	2		1				1					
住居計画演習	2		2		1							
食品学演習	3		2			1						
環境の指標生物	2		2		1							
自然災害論	2		2		1							
応用物理学概論	2		2			1						
環境機器分析	3		2							アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加(22)		
生活と生命科学	3		2									
環境生物化学	3		2							アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加(22)		
環境分析化学	3		2									
環境と生物	3		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
選択科目B	古環境論	3		2		1					授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20) " 授業内容の充実を図るために配当年次2を1に変更(22)
	自然環境科学実験	3		2							
	自然環境科学演習	3		2							
	課題研究 I	4		2		2	2				
	課題研究 II	4		2		2	2				
	被服学	1		2							
	食物学	1		2			1				
	家庭経営学	2		2				1			
	住生活論	3		2							
	生活工学	3		2							
	調理学・食品加工貯蔵学Ⅰ→調理加工学及び実験実習Ⅰ	1		2			1				
	調理学・食品加工貯蔵学Ⅱ→調理加工学及び実験実習Ⅱ	2		2			1				
	被服構成学及び実習	2		2				1			
	物理学Ⅰ	2		2			1				
	物理学Ⅱ	2		2				1			
	無機化学	2→1		2							
	有機化学	3		2			1				
	生物学Ⅰ	1		2		1					
	生物学Ⅱ	2		2		1					
	地球科学	1		2		1					
	天文学及び気象学	2		2		1					
	教材生物実習	2		2		2					
	理科実験Ⅰ	1		1		3					
	理科実験Ⅱ	1		1			1				
	理科実験Ⅲ	2		1			1	1			
	理科実験Ⅳ	2		1		2					
小計(71科目)	-	14	122	0	3	4	1				
【情報教育コース】											
課程共通必修・選択必修科目	生涯学習論	2	2								授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20) アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加(20) アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を廃止(20) 授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)
	異文化理解概論→異文化間教育概論	2		2		1					
	日本語概説	1		2		1					
	情報化と言語	2		2		4					
	社会情報論→現代社会とメディア	2		2			3				
	公共性と世代生成	3		2							
	生活科学概論	1		2							
	人のくらしと自然	1		2		2					
	情報科学基礎	1	2					1			
	情報処理入門	1	2				1				
	科学技術と教育	2	2			1					
	教科教育法Ⅰ(情報)→情報科教育法Ⅰ	2	2			1					
	教科教育法Ⅱ(情報)→情報科教育法Ⅱ	3		2		1					
	情報リテラシー	1		2							
	実践教育と情報技術	1→2		2		1					
	情報と職業	3		2		1					
	情報教育英語	3		2							
	プロジェクト研究Ⅰ	3	2			1	2				
	プロジェクト研究Ⅱ	3	2			1	2				
	情報理論入門	1→3		2		1					
線形計画法	2→3・4 →3		2			1					
オペレーションズリサーチ	3・4→3		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修・選択必修科目	符号理論	3		2			1					
	確率論	2		2		1						
	数値計算法	3→4		2		1						授業内容の充実を図るために配当年次3を4に変更(22)
	ハードウェア概論	2→2・3		2			1					担当教員の体調不良のため、H21年度入学生のみ一時的に配当年次を2・3に変更(21)
	ハードウェア実践	2・3→3・4		2			1					担当教員の体調不良のため、H21年度入学生のみ一時的に配当年次を3・4に変更(21)
	コンピュータシステム	2		2		1	1					
	オペレーティングシステム	3		2		1						
	計測・制御概論	3・4		2			1					
	情報ネットワーク	3		2		1	1					
	Web情報システム	3		2		1						
	プログラミング言語I	2→1		2		1						授業内容の充実を図るため、配当年次を1に変更(21)
	プログラミング言語II	2		2		1						
	プログラミング実践	2		2		1						
	データ構造とアルゴリズム	2		2		1						
	認知科学	3→3・4		2					1			隔年開講になったため、配当年次を3・4に変更(21)
	人工知能の基礎	3		2					1			
	人工知能の応用	4→3・4		2					1			隔年開講になったため、配当年次を3・4に変更(21)
	メディア基礎I	3→2		2					1			メディア基礎IIが配当年次3・4の隔年開講になったため、配当年次を2に変更(21)
	メディア基礎II	3→3・4 →3		2					1			隔年開講になったため、配当年次を3・4に変更(21) 授業内容の充実を図ることと、学生の選択幅を広げるために配当年次を3に変更(23)
	コンピュータグラフィックス	3・4		2								
	データベース論	3		2		1						
	論理と情報検索	3・4 →1・2		2								授業内容の充実を図るために配当年次3・4を1・2に変更(22)
	データベース演習	3		1		1						
	メディア基礎演習	3→3・4 →3		1					1			隔年開講になったため、配当年次を3・4に変更(21) 授業内容の充実を図ることと、学生の選択幅を広げるために配当年次を3に変更(23)
	プログラミング演習I	2→1		1		1	2					授業内容の充実を図るため配当年次を1に変更(21)
	情報ネットワーク演習	3		1		1						
	情報数学概論	2		2			1					
情報数学	4		2			1						
代数学概論	1		2			1						
幾何学概論	1		2		1							
解析学概論	2		2		1							
情報基礎I→情報とコンピュータI	1		2			1					授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)	
情報基礎II→情報とコンピュータII	1→2		2								授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更と授業の充実を図るために配当年次を2年次に変更(20)	
コンピュータ演習	2		2			1						
電気・電子工学I	2		2		1	1					担当教員の体調不良により、H21年度は一時的に未開講(集中講義予定)(21) H21年度後期の集中講義で開講済み(21)	
電気・電子工学II	2		2		1	1					担当教員の体調不良により、H20年度入学生のみ配当年次を3に変更(20) H22年度後期の集中講義に2回生以上対象に開講予定(22) H22年度後期の集中講義で開講済み(23)	
電気・電子工学演習	2→3		2		1	1					技術教育のカリキュラム変更のため、H20年度より、配当年次を3に変更(20)	
木材加工法I	1		2		1							
金属加工法I	1		2		1							

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	機械工学Ⅰ	2		2								教育内容充実を図るため、配当年次を1～3に変更(21)	
	栽培技術学	1・2 →1～3		2									
	デザイン概論	1		2		1							
	地域学入門	1		2		1							
	市民教育論	2		2			1						人間社会デザインコースで受講できるため、本科目を削除(20)
	共生の倫理学	3		2									
	国際理解実践Ⅱ	1～4		2									国際理解教育コースで受講できるため、本科目を削除(20)
	国際理解教育の現状	3		2			1						国際理解教育コースで受講できるため、本科目を削除(20)
	先端科学と生活	2→3		2			1						授業内容の充実を図るため配当年次を3に変更(21)
	自然災害論	2		2									
	小計(66科目)	-	14	114	0	3	2	1					
	インターンシップ事前指導	1～4		2									
	インターンシップ	1～4		2									
	卒業研究(演習)	4	4										
	合計(340科目)	-	69	638	0	13	10	1					

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 29	科目 287	科目 0	科目 316	科目 33 [ 4]	科目 307 [ 20]	科目 0 [ ]	科目 340 [ 24]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	電気・電子工学Ⅰ	2	2	専門	選択	担当教員の体調不良により，平成21年度は一時的に未開講(集中講義を予定)(20) 平成21年度後期の集中講義で開講済み(21)
2	電気・電子工学Ⅱ	2	2	専門	選択	担当教員の体調不良により，平成20年度入学生のみ配当年次を3年次に変更(20) 平成22年度後期の集中講義で2回生以上対象に開講予定(22) 平成22年度後期の集中講義で開講済み(23)

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。  
 なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。(ただし，未開講科目があった場合は，(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	情報化と言語	2	2	専門	必修	アドミッションポリシーとの整合性の理由により廃止(20) (国際理解コースの新設科目を追記して代替措置)
2	国際理解教育の現状	2	3	専門	選択	〃
3	漢字文化圏と書字論	2	1~4	専門	選択	〃
4	異文化と日本語	2	3	専門	選択	〃
5	情報伝達演習Ⅰ	2	3	専門	選択	〃
6	情報伝達演習Ⅱ	2	3	専門	選択	〃
7	日本史特講	2	3	専門	選択	〃
8	情報教育英語	2	3	専門	選択	〃
9	英語リテラシー演習	2	1	専門	選択	授業内容の重複の見直しにより本科目を廃止(23) (代替措置として英語コミュニケーション演習Ⅰ～Ⅳを受講する。)

- (注)・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

ディプロマ・ポリシー，アドミッション・ポリシー，カリキュラム・ポリシーの一貫性を整備するという大学全体の方針に従って，教育学部としても，再度アドミッション・ポリシーの見直しを行った。その過程で，各課程・各コースのアドミッション・ポリシーが検討され，若干の授業科目が削除されたり追加されたりした。なお，学生には，「履修の手引」や各学期ごとのガイダンス等を通じて周知している。(20)  
**授業内容の重複の見直しにより，英語リテラシー演習と英語コミュニケーション演習Ⅰ～Ⅳのそれぞれに授業内容の重複が見られたため，英語リテラシー演習を廃止し，英語コミュニケーション演習Ⅰ～Ⅳの授業内容をさらに充実させることで，授業科目の統合を行った。なお，学生には，「履修の手引」や各学期ごとのガイダンス等を通じて周知している。(23)**

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.02$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	愛媛大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
法文学部 総合政策学科						1.03		愛媛県松山市 文京町3番	
(昼間主コース)	4	270	3年次10	1080	学士(総合政策) 学士(法学)	1.03	平8		
総合政策学科					学士(経済学)				
(夜間主コース)	4	60	3年次20	320		1.05	平8		
人文学科					学士(人文)				
(昼間主コース)	4	125	-	480		1.03	平8		
人文学科									
(夜間主コース)	4	50	3年次20	240		1.04	平8		
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	100	-	400	学士(教育学)	1.06		愛媛県松山市 文京町3番	
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	60		1.08	平11		
総合人間形成課程	4	60	-	180		1.07	平20		
スポーツ健康科学課程	4	60	-	180		1.04	平20		
スポーツ健康科学課程	4	20	-	60		1.10	平20		
芸術文化課程	4	20	-	90		1.06	平11		
障害児教育教員養成課程	4	-	-	-		-			平成20年度より 学生募集停止
生活健康課程	4	-	-	-		-			
情報文化課程	4	-	-	-		-			
理学部									
数学科	4	50	-	200	学士(理学)	1.05		愛媛県松山市 文京町2番5番	
物理学科	4	50	-	200		1.12	平17		
化学科	4	52	-	208		1.05	平17		
生物学科	4	43	-	172		1.04	平17		
地球科学科	4	30	-	120		1.07	平17		
地球科学科	4	30	-	120		0.97	平17		
医学部									
医学科	6	107	2年次5	592	学士(医学)	1.00	昭48	愛媛県東温市志津川	
看護学科	4	60	3年次10	260	学士(看護学)	1.00	平6		
工学部									
機械工学科	4	90		360	学士(工学)	1.04		愛媛県松山市 文京町3番	
機械工学科	4	90		360		1.02	平3		

電気電子工学科	4	80		320		1.02	平3	
環境建設工学科	4	90		360		1.06	平8	
機能材料工学科	4	70		280		1.04	平8	
応用化学科	4	90		360		1.06	平3	
情報工学科	4	80		320		1.05	平3	
			学科共通3年次10	20				
農学部					学士（農学）	1.07		
生物資源学科	4	170	3年次10	700		1.07	昭63	愛媛県松山市樽味3丁目5番7号

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- (大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
  - ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<教育学部 総合人間形成課程>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
14	10	1		25		13	10	1		24		
( 14 )	( 10 )	( 1 )	( )	( 25 )	( )	[Δ1]	[ ]	[ ]	[ ]	[Δ1]	[ ]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
(記入例：1名減の場合：Δ1)

## 5 その他全般的事項

<教育学部 総合人間形成課程>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
- b 公表予定時期 ( 2011年 6月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.ehime-u.ac.jp/information/open/legal/index.html> )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。